

一般労働者ハ予ノ忠言ヲ聞イテ呉レルカモ知ナイ
ト考ヘルニ至リ、ソコテ採ツタ、今則シテ
今回ノ企テヲ採ルニ當ツテモ予ハ終始、指導主義ヲ以テ
一貫シタ、予ハ絶対ニ組合員ハ説カナカツタ、予ハ何人
対シテモ脱會ヲ勸告シ、或ハ切崩シヲ依頼シ、十カツタ
坑ンヤ累カ、強迫、脅應ヲヤ、予ガ二月ノ初旬、昨年度
組合運動ノ根源地タル山方面ノ最モ穩健ナル人々
ヲ集メテ初メテ此ノ企テヲ為シテ以來、今日ニ至ル迄、前
後四十日、其ノ間晝夜ヲ分タズ、檢會アル毎ニ幾十
度トトク、説イタ、予ハ予ノ前ニアル穩健分子ニ対シ
テ吳々モ言ツタ、トモハ決シテ諸君ニ切崩シヲ依頼ス
ルモノデハナイ、切崩シヲ為スハ其志ヲ多トスルモ當
所ガ之ヲ以テ恩ヲ蒙リト思フハ間違ヒテアル、蓋

シ自分が迷夢ニ陥レル労働者ヲ救ハントスル志モ又
諸君が迷ヘル同僚ヲ覺醒セシメントノ志モ、共に道義
的精神ノ進リ出テタルモノデアツテ、之ニ対シテ彼是賞
讃又ハ報酬ヲ要ホスベキ性質ノモノデハ、決シテナイ、諸
君ニシテ私ノ精神ヲ理解セバ、檢ニ觸レ時ニ應シ、曲
解セルモノニ傳ヘラレタレント、之ヲ聞キタル労働者ハ
課長ハ斯ク迄考ヘテ呉レテ居ル吾等ハ盡力ヤサレ
バカラズト、感激シ、友情ヲ以テ女子労働者ニ説クニ至
リ、今ラ迄迷妄ニ陥レル労働者ハ、諸君及省セル所ハ
如斯友人ノ忠言ニ接シ、初メテ豁然トシテ覺醒シ、續
々脱會者ヲ出スニ至レリ、
労働組合側ハ此ノ情勢ヲ見テ大ニ狼狽シ、或ハ大阪ヨリ
以テ大失者ニテ電招シ、鈴木ハ因島ニ赴キテ應援者ヲ連